

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



現地協力団体のアデリン代表代行(右)とスタッフの皆さん。(2022 年)

ブルキナファソからご挨拶

日本の皆さん、初めまして。私は「緑のサヘル」の現地協力団体 AJPEE（環境畜産保全青年協会）で代表代行を務めているアデリン・サウドゴと申します。私は 2 月に急死した前代表の長女で、8 か月になる赤ちゃんの母親でもあります。

私の日本に関する知識はテレビや雑誌から得たものに限られていますが、緑の多さや雪の美しさ、雨季の雨を「梅雨」と名づける感性、また月にはウサギが住んでいるという伝説を生むに至った心情等に強く惹かれており、いつか自分の子供たちにも伝えて上げたいと考えています。

さて、AJPEE は地域に根差した NGO で、様々なパートナーと共に教育、環境、農業、畜産、保健、食糧の安全保障等々、人道的な活動を行なっています。その根本にあるのは「無欲」の精神で、目指すのは住民の平穏な生活です。

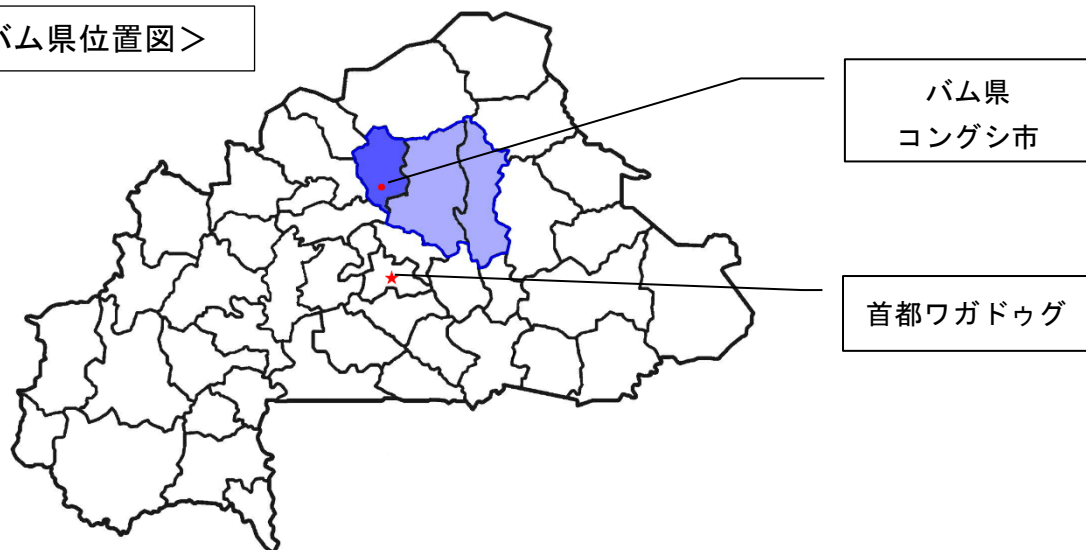
今、私たちの国ブルキナファソは大変な状況にあります。全土で治安が悪化し、多くの人々が分断と孤立の中で貧困や飢えに直面し、そして命を失いつつあります。ですから前代表が逝去した際、私は迷わずその遺志を継ぐ決意をしました。

初子を育てながらの活動は、決して楽ではありませんが、幸い私には理解のある夫と志を共にする仲間たちがいてくれます。叶うことなら、皆さんのお力を借りながら、これからもささやかな貢献を続けて行きたいと願っています。

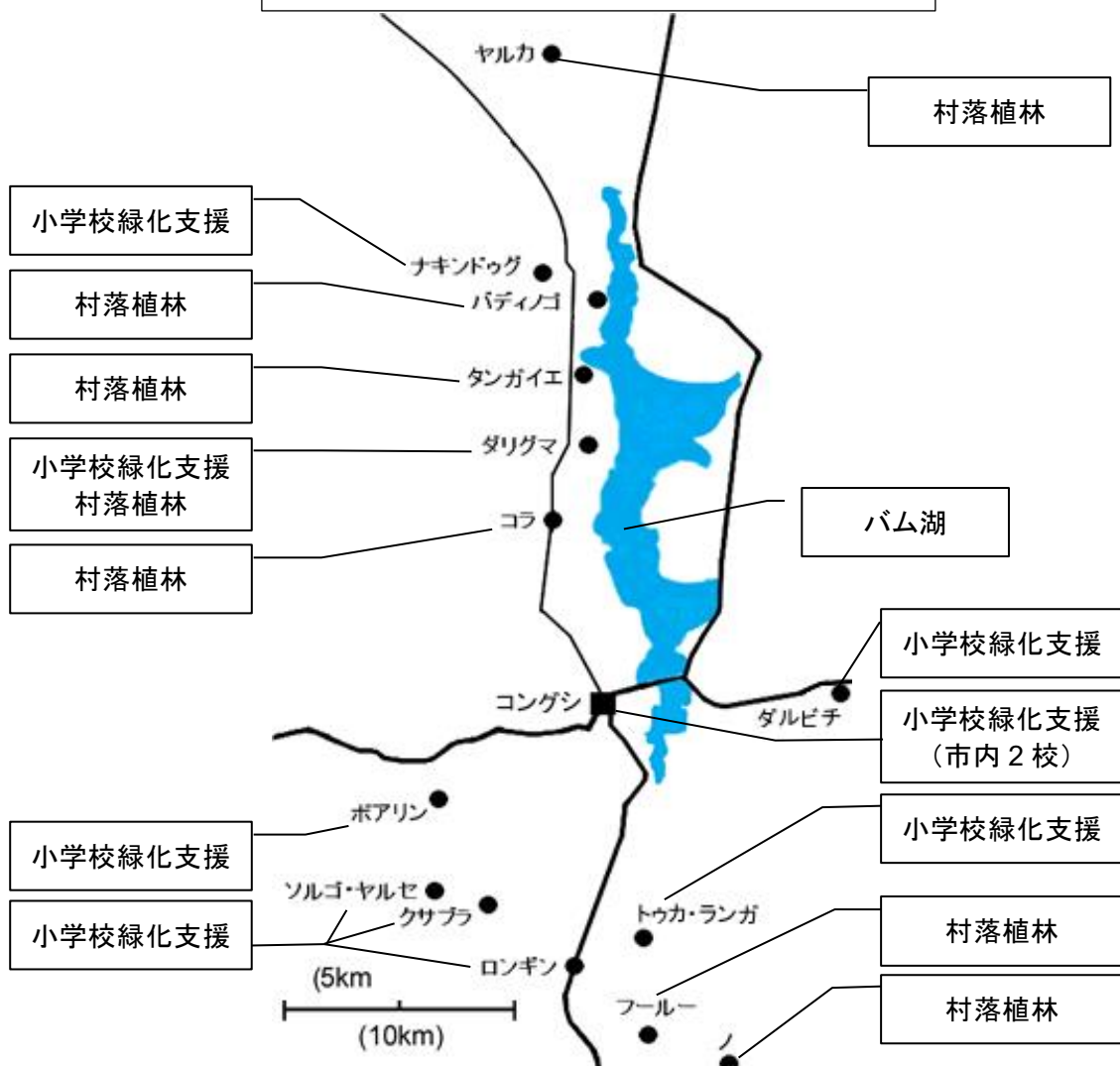
AJPEE 代表代行 アデリン・サウドゴ

ブルキナファソの活動地域図

<バム県位置図>



<バム県コングシ地域活動実施村位置図>



ブルキナファソから 1



武装集団による村落襲撃の頻発、今年 2 度目となるクーデターの発生等、治安が急激に悪化しつつあります。現在、国土の 4 割が武装集団の行動範囲下にあると見做され、国民の 1 割弱に当たる 190 万人が避難民となっています。このため全土が外務省（日本）による「退避勧告」もしくは「渡航禁止勧告」地域に指定されています。

今雨季の降雨は順調で豊作が期待されていましたが、土地を逃れて避難民となる住民が続出したことや、交通・輸送の分断、農業資機材の高騰等の影響で、最終的には不作となっていました。また国内生産力の低下によって、生活物資全般が不足し、高騰が続いています。

プロジェクトを実施しているcongsh地域においては、まだ直接的な被害は報告されていませんが、近隣地域では何度か襲撃事件が起きており、既に外務省からは退避が勧告される等、危険地域と認定されています。現在、多数の国内避難民が流入しつつあり、食糧の不足が深刻化しています。

もちろん、このような状況においては活動の実施を優先すべきではありません。しかし、地域住民の皆さんと現地協力団体からは、日常のままの生活と未来に向けての取り組みを可能な限り続けたいとの希望が寄せられていることから、臨機に臨むことを前提に活動を継続することにしました。以下は現在続けている活動と、今後の予定になります。

小学校緑化支援／村落植林

「小学校緑化支援」では、昨年植林を行なった小学校の全てが継続を希望し、2022 年度も 10 校が参加することになりました。7 月 30 日、各校に 40 本ずつ苗木を配布、現在は植栽を終えて、生徒たちによる灌水作業が続けられています。

「村落植林」も、昨年同様 6 村 8 サイトにおいて計 5,000 本の植林を予定していますが、治安状況を見ながらの実施となるため、参加村数や実施時期については流動的です。参加村の関心は、昨年実施出来なかった用材販売に向いています。無理は禁物です。



各校で灌水作業が続けられています。



女性の参加者も増えて来ました。

ブルキナファソから 2



ブルキナファソの治安悪化については、これまでもお伝えして来ました。現状は前頁でお知らせした通りですが、より状況を正確に知っていただくため、簡単ですが以下にこれまでの流れをまとめてみました。ぜひご一読下さい。

ブルキナファソの治安悪化について

2014 年 10 月 : 27 年間に亘った独裁政権が民衆の蜂起と国軍の介入によって解体され、暫定政権が発足しました。

2015 年 9 月 : 前大統領とつながりがあった大統領警備隊がクーデターを起こし、暫定政権を解散しましたが、関係諸国と政府軍部隊の反対、説得によって投降、暫定政権が再開しました。

11 月 : 大統領選挙が実施され、新政権がスタートしました。

※ 2015 年以降、政府の弱体化によって武装集団が北部から侵入し、治安部隊への攻撃や村落への襲撃、略奪を始めました。その範囲は現在も広がりつつあります。

2020 年 1 月 : 国内避難民が 60 万人を越えました。

2 月 : 「緑のサヘル」の活動地だったタカバングウ村（首都ワガドゥグの北東約 380 km）が襲撃されました。

5 月 : 国内避難民が 90 万人を越えました。

2021 年 10 月 : 「緑のサヘル」が活動を実施しているコングシ地域（首都の北約 110km）近隣で襲撃があり、避難民の流入が急増しました。

12 月 : 国内避難民が 150 万人を越えました。

2022 年 1 月 : 武装集団に対抗するための軍備増強と、負傷兵の治療環境の改善を求め、国軍の一部がクーデターを起こしました。

※ 前政権の対テロ政策の失敗を訴え、国民から一定の支持を得ましたが、その後も状況を改善することは出来ず、被害は増え続けました。

7 月 : 国内避難民が 190 万人を越えました。

9 月 : 武装集団へのより強力な対応を求め、軍部反乱グループがクーデターを起こしました。

この年表をご覧になると、武装集団が急激に勢力を拡大していることがお分かりになると思います。新政権による対テロ政策が功を奏し、一日も早く平穏な生活が戻ることを願って已みません。「緑のサヘル」は、今後もブルキナファソの状況を見守り続けます。

国内活動



今期は3年ぶりの開催となった「三鷹国際フェスティバル」に出展したほか、社会奉仕団体やNPO、教育機関での講演・講義と、コロナ禍以降久しぶりに対外的な活動に追われました。また、2023年カレンダーの作製やニュースレターNo.91の発送等もあり、多忙な日々が続きました。

< 国内の主な活動一覧 >

8月	19日(金)	2023年 オリジナルカレンダー 作製開始
9月	8日(木)	日本橋プロバスクラブ 講演
	25日(日)	三鷹国際交流フェスティバル 出展
10月	5日(水)	ニュースレター No.91 発送開始
	18日(火)	神戸大学 国際人間科学部 講義(1年生 137名) 国際援助論「アフリカ乾燥地域の現状とその対策」
	24日(月)	盛岡市立 下橋中学校 講演(2年生 62名)
	26日(水)	認定NPO法人 野生生物保全論研究会 「ワイルドライフカレッジ」オンライン・セミナー

国際交流イベント出展

9月25日(日)、井の頭恩賜公園で開催された「三鷹国際交流フェスティバル」に出展しました。「(財)三鷹国際交流協会」が主催する市内でも屈指の国際交流イベントで、例年4万人以上が来場していましたが、ここ2年はコロナ禍のために中止されており、今年が3年ぶりの開催となります。



天候に恵まれ、多くの皆さんが来場しました。



子供たちもたくさん来てくれました！

久しぶりの開催を楽しみにしていた皆さんも多かったようで、終始人の流れが途切れませんでした。「緑のサヘル」もその賑わいに負けないよう、スタッフ、OB、ボランティアが一丸となってパネル展示や活動紹介、民芸品やTシャツの販売に当たりました。各参加団体が小中学生にクイズを出す「ビンゴラリー」も実施されており、ご家族連れも目立ちました。

(「緑のサヘル」からのクイズが次頁にありますので、どうぞチャレンジしてみてください！)



2023年カレンダー絶賛販売中 !!



皆様、来年のカレンダーはもうご準備出来たでしょうか？ もしまだなら「緑のサヘル 2023 年 オリジナル・カレンダー」はいかがですか？ ただ今、好評販売中です！

ページを開くだけで西アフリカを実感出来、お友達やお知り合いへのプレゼントにも最適です。購入をご希望される方は、カレンダーチラシ、または「緑のサヘル」東京事務局までメールかお電話、FAX にてお申込み下さい。

A4 変形（広げた時 A3 変形）オールカラー28 ページ

価格：1 部 1,200 円（税込み）、送料 200 円（全国一律・何部でも）

【緑のサヘル 2023 年オリジナルカレンダー取り扱い店 一覧】

東北	Organic, Ecology & Fair Trade おいものせなか	岩手県 花巻市
北陸	楽器屋 JUN JUN	新潟県 新潟市
関東	アフリカ屋	東京都 荒川区
	梅田洋品店	東京都 文京区
	稽古場 風	茨城県 水戸市
関西	民族楽器の店 ジェンベ	兵庫県 神戸市
WEB	アフリカ専門輸入・卸 アフリカンスクエア	https://www.african-sq.co.jp
	アフリカ雑貨 民芸品 さらま交易	https://salama-trading.com

次の野菜の中で、アフリカ原産はどれ？

「三鷹国際交流フェスティバル」で実施された小中学生を対象とした「ビンゴラリー」で、当団体が出したクイズです。皆さんには分かりますか？ 正解は「編集後記」で！



① トマト



② オクラ



③ タマネギ

ありがとうございました

＊敬称は略させて頂きました。

【 会員のみなさま 】

青山初穂／須藤きい／松本仁一／北川華子／清水貴夫
矢野友一郎／田中ちえ子

【 ご寄付をいただきました 】

津田俊博／木野友義／岩本恵子／松浦外美／森野孝子
那口真理子／高橋菜々子／田中ちえ子／榎本みつ子
小笠原弘子／戎綾子／宮原忠之／森田康子／矢部弥生
畠山暁子／梅田暢子／山中正和
個別教育フォレスト 安多秀司／岩手プロジェクト

【 古本チャリティ募金を通じてご寄付を頂きました 】

浅輪哲司／市川信一

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

匿名をご希望の方 1 名

上記は 2022 年 8 月 1 日から 2022 年 10 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、11 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／トヨタ自動車(株)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(株)ブギ／国際ソロプチミスト大阪-中央
(特活)環境アリーナ研究機構／(一社)環境メディアフォーラム
LIFULL ソーシャルファンディング／アフリカ料理トライブス
ソフトバンクつながる募金／(特活)国際協力 NGO センター

【 写真を提供しました 】

株式会社アフロ

中学生向社会科教材「地理の資料 2023 年度版」(正進社)

特定非営利活動法人 Nature Center Risen

環境教育を目的とした研修およびその関連物

「緑のサヘル」からお知らせ

ご支援をお願いします！

● ご寄付を募っています。



「緑のサヘル」は、多くの方々の支えによって活動を続けられています。もちろん、いくらからでもOKです。どうぞ、貯まった小銭や臨時収入のお裾分け等々、「緑のサヘル」にお託し下さい！ 生徒会や有志による募金も、大事に大事に使わせていただきます。

● 読み終えた本を送って下さい。

読み終えた書籍を段ボールに詰め、寄付先を「緑のサヘル」とご明記の上、「古本チャリティ募金」に送って下さい。買取金額が当団体へのご寄付になります。（ご発送は「元払い」をお願いいたします）

送り先

古本チャリティ募金 運営事務局
株式会社ブギ 本棚お助け隊
〒112-0012
東京都文京区大塚 3-42-14
北村ビル1階
TEL：050-3628-4128
<https://hondana.biz>

お送りいただける本

専門書、学術書、ビジネス、哲学、語学、資格、映画、音楽、アイドル、写真集 等

以下は対象外です

- ・定価表示・ISBNバーコードがない本
- ・書き込み、破れ、シミ、臭いのある本
- ・文庫、雑誌、辞典・辞書、教科書、自費出版、非売品、全巻揃いのコミック 等

● 書き損じハガキや未使用切手を集めています。



国内での活動には、ハガキや切手も必要です。未使用の切手は、そのまま使わせていただきます。

書き損じハガキは、1枚5円の手数料で同額のハガキか切手、レターパック等に換えることができます。その結果、現地の活動費を増やすことができます。

2023年4月1日より、交換手数料が1枚5円から10円になります。（100枚以上の場合）

【 もくじ 】

- | | |
|---------------|---------|
| 1・表紙 | 5・国内活動 |
| 2・ブルキナファソ活動地図 | 6・事務局より |
| 3・ブルキナファソから 1 | 7・ありがとう |
| 4・ブルキナファソから 2 | 8・お知らせ |

< 編集後記 >

かつては「奇跡のよう」とまで言われた、平和で安全な国ブルキナファソ。自分たちの国が蹂躪され、生まれ育った土地を追われた人々の悲しみや苦しみは如何ばかりでしょうか？

暗澹たる思いの中で、AJPEEのスタッフさんたち、代表代行のアデリンさん、そして地域の方々の思いとご覚悟には、胸を打たれてしまいます。どうぞ皆さんご無事でー。

クイズの正解は ②のオクラで、アフリカ北東北部が原産地になります。ちなみに、①のトマトは南米アンデス、③のタマネギは中央アジアのペルシアのあたりが原産とされています。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.92

編集 緑のサヘル 東京事務局 / 印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 NASビル 3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041